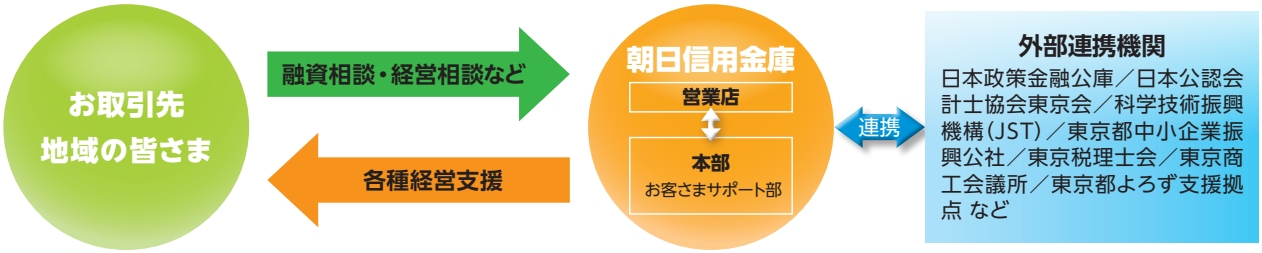
令和5年度「地域密着型金融」の取組み状況について

朝日信用金庫

地域密着型金融への取り組み

中小企業の経営改善及び地域活性化のための取り組み状況

当金庫は、地域から真に必要とされる金融機関になることを目指し、「コンサルティング機能強化」、具体的には「お客さまの課題解決」に重点を置いた活動を展開しています。お取引先それぞれに応じた支援体制・支援内容の充実を図り、課題解決に向け、営業店と本部が一丸となってサポートいたします。また、必要に応じて様々な外部専門機関や地元自治体と連携するなど、質の高い経営支援に取り組んでいます。

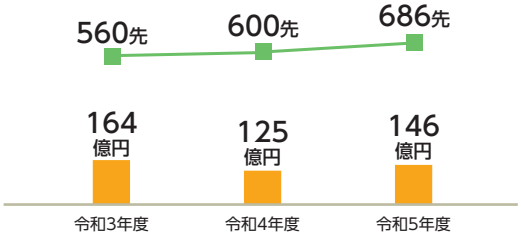


創業期支援

地域の雇用増加や地域内事業の活性化のため、新たに事業を立ち上げる方や創業期の企業の方に対し、お客さまのニーズに合った情報の提供、創業助成金制度の紹介を行っているほか、ご融資にも積極的に対応しています。

・令和5年度「創業支援融資」　686先／146億円

創業支援融資の実績（設立5年以内の事業者向け融資）



朝日創業塾

創業される方・創業5年未満の方を対象に、台東区・江戸川区の認定創業支援等事業計画と連携し、全4回の「朝日創業塾」を平成30年度から開講しています。経営・財務・人材育成・販路開拓などの全講座を受講し、区より証明書の交付を受けた場合には、区内で会社を設立する場合の登録免許税軽減や信用保証協会の創業関連保証の特例などが受けられます。

・令和5年度「朝日創業塾」受講者　計55名
　たいとう朝日創業塾（西町ビル）9/7・9/21・10/5・10/19
　えどがわ朝日創業塾（タワーホール船堀）9/11・9/26・10/10・10/24

販路拡大支援

お取引先企業の新たなビジネスチャンスを作り出すことを目的に、商談会やセミナーの開催をはじめ、様々な外部機関等と連携しながら地元中小企業の販路拡大をサポートしています。

朝日ビジネスマッチング「大手バイヤー商談会」

当金庫は、平成27年からお取引先企業とバイヤーを結ぶ完全予約制の「大手バイヤー商談会」を開催しています。令和5年度は、11月9・10日に、東京都立産業貿易センター台東館において、リアルとオンラインを融合したハイブリッド形式で開催し、参加バイヤー40社とお取引先124社の間で238件の商談が行われました。

令和6年度も開催を予定しています。

■ 海外展開をサポート

令和5年12月の1カ月間、当金庫100周年事業として台東区と連携し、「タイ（バンコク）テスト販売」を開催しました。お取引先17社が108商品の出展・販売を行い、12月7日～8日には現地バイヤー20社を招いたハイブリッド商談会を開催し、52商談を実施しました。また、台東区共催による「海外展開支援セミナー」を令和6年1月24日に開催。タイの雇用状況や売れ筋商品・EC活用などの内容に29社30名が参加されました。

経営力強化のサポート

■ 事業承継支援などのコンサルティングサポート

お取引先が抱える多種多様な相談ニーズにお客さまサポート部の専門スタッフが営業店や外部専門機関などと連携し、個別課題の解決に取り組んでいます。各種補助金の申請や助成金等の活用、事業承継、M&Aなどの課題や、市場動向から事業目標・戦略立案など、様々な面から経営をサポートしています。

・令和5年度相談件数　1,232件（個人128件／法人1,104件）

相談の内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
事業承継	302	海外展開	112
経営支援	217	販路開拓	59
各種補助金	132	IT活用	51
M&A	127	資金調達	34
相続・贈与	120	その他	78
合　計	1,232		

■ セミナーの開催

当金庫は地域産業活性化のため、事業者の方向けにZoomを利用したWEBセミナーを随時開催しています。令和5年度は、補助金活用や販路拡大についてのセミナーをはじめ、海外展開、エネルギーコスト削減などをテーマに開催し、646社674名の方が参加されました。

■ 地元企業の人材採用をサポート

人材を確保したいお取引先企業に、当金庫が業務提携している人材サービス会社をご紹介し、職種や働き方など、お取引先が求める人材の採用を応援しています。提携先は、株式会社アヴァンティスタッフ、ミイダス株式会社、「Hi Pro Direct（ハイプロダイレクト）」*、「doda（デューダ）」などで、特定のスキルを持つ人材をはじめ、若手・中堅層から管理職まで、幅広い採用ニーズに対応しています。

＊旧：Loino（ロイノ）

■「金融仲介機能のベンチマーク」への取り組み

平成28年9月に金融庁より、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価する「金融仲介機能のベンチマーク（以下ベンチマーク）」が公表されましたが、当金庫はベンチマークが公表される以前から、地域におけるお客さまのニーズ・課題に応じた融資やソリューション（解決策）等を提供することで金融仲介機能を発揮しています。ベンチマークを効果的に活用していくことで、金融仲介機能の質を一層高め、地域の持続的な成長に貢献してまいります。

■ 事業性評価に基づいた金融サービスの提供

当金庫では、お取引先企業の財務内容等の過去の実績や担保・保証に必要以上に依存することなく、日々の営業活動を通じてお取引先企業の事業内容や成長性等を適切に評価するとともに、経営課題の解決に向けて最適な金融サービスを提供することに取り組んでいます。

地域密着型金融への取り組み

■ 経営改善支援等の取組実績

中小企業診断士等の専門スタッフがお取引先企業とともに、外部の支援機関と連携して経営改善、事業再生に向けた取り組みを行っています。

【令和５年度 経営改善支援等の取組実績】

（単位：先数）

	期初債務者数 Ⓐ	うち経営改善支援取組先数 Ⓑ	Ⓑのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 Ⓒ	Ⓑのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 Ⓓ	Ⓑのうち再生計画を策定した先数 Ⓔ	経営改善支援取組率 Ⓑ／Ⓐ	ランクアップ率 Ⓒ／Ⓑ	再生計画策定率 Ⓔ／Ⓑ
要注意先 うちその他要注意先	6,787	289	10	258	30	4.3%	3.5%	10.4%
要注意先 うち要管理先	26	4	0	2	1	15.4%	0.0%	25.0%
破綻懸念先	724	52	0	49	6	7.2%	0.0%	11.5%
実質破綻先	94	2	0	1	0	2.1%	－	－
破綻先	14	0	0	0	0	0.0%	－	－
小　計	7,645	347	10	310	37	4.5%	2.9%	10.7%
正常先	12,986	111		99	0	0.9%		0.0%
合　計	20,631	458	10	409	37	2.2%	2.2%	8.1%

（注）
- 期初債務者数及び債務者区分は令和5年4月当初時点で整理しています。
- 債務者数、経営改善支援取組先は、事業性与信のある先であり、住宅ローン、消費性ローン等のみの先は含みません。
- Ⓒには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者はⒷに含めるもののⒸに含めていません。
- 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はⒸに含めています。
- 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
- 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
- Ⓓには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
- 「再生計画を策定した先数Ⓔ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「ＲＣＣの支援決定先」＋「当金庫の再生計画策定先」

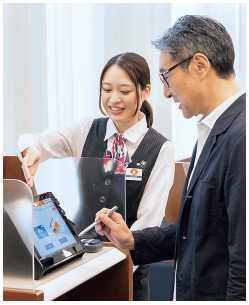
DXへの取り組み

コロナ禍によって、新しい生活スタイルが浸透し、暮らし方や働き方が大きく様変わりしました。金融機関のビジネスの分野においても、IT環境の整備が急速に進み、非対面チャネルでの営業活動やサービスの提供など、企業活動全体で大きな変化が生まれています。こうした中、当金庫は、令和２年より業務改革に取り組み、外部のクラウドサービスをはじめ、勘定系などの内外のデータ活用のほか、様々なデジタル技術を活用することによって、カスタマーエクスペリエンス（顧客体験）の向上と、当金庫の持続的成長を重視した経営を目指しています。

■ ご来店のお客さまへのサービス・サポート

お客さまとの接点となる営業店窓口でのサービスをさらに充実いたします。

・店頭のタブレット端末を利用した「伝票レス・印鑑レス取引」の拡大
・店頭でお待たせしない「来店予約サービス」の導入
・店頭のテレビ会議システムを利用し、専門知識を持つ本部職員がご相談をサポート
・お持ちのスマートフォンに通知が届く「番号発券サービス」を導入



■ 外訪活動のデジタル化

営業係による外訪活動においてもDX化を進めます。

・営業係のタブレット端末を利用した「オンライン相談」により、お取引先の課題解決をサポート
・営業係による訪問先での「伝票レス・印鑑レス取引」を拡大

■ 非対面チャネルの充実

平日のご来店が難しいお客さまや、自由度を重視する若年層へのサービスをご提供します。

・「朝日スマートアプリ」を利用し、来店不要で完結する取引を拡大
・ATMの機能を拡充
・「法人ポータル」を導入し、お取引企業のDX化を促進（令和６年度以降）

■ デジタル人材の育成

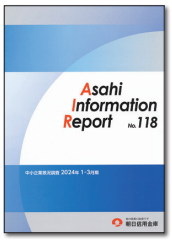
お客さまのDX化に貢献できるよう、職員を育成します。

・デジタル技術やDXに関する学びのための環境を整備
・ITパスポート資格の推奨（令和６年３月末現在　資格保有職員数311名）

地域やお客さまに対する情報発信

■ ディスクロージャー誌

■ 中小企業景況調査



■ 実務情報紙

■ WEBサイト・スマホサイト

特別企画「100年企業ご紹介」

100周年記念事業の一環として、数多くの苦難や経済環境の変化を乗り越え、永く強く100年を超える経営を実践してこられたお取引先173社を当金庫の経営者向け情報誌「Asahi Business Letter」にて紹介しました。

朝日中小企業経営情報センター〈ACC〉

ACCは、中小企業の発展を通じ、地域の発展に寄与することを目的に、当金庫が平成８年３月に基本財産５億円を拠出し、設立した財団法人です。ACCでは次の３事業を柱に活動を展開しています。

■経営者・従業員に対する研修事業

中小企業の経営者、管理者、社員の方向けの研修講座を中心とした事業です。令和５年度は21講座を開講し、877名の方が受講されました。また、事業後継者や経営幹部の方々を対象にした「次世代マネジメントカレッジ」と、そのOB会「次世代マネジメントクラブ」を11回開講し、延べ217名の方が受講されました。なお、設立以来の累計受講者数は延べ２万7千名を超えています。

令和５年度	開講数
経営者研修（次世代講座を含む）	15講座
管理者研修	3講座
社員研修	3講座
計	21講座

■企業振興のための助成事業

新製品の研究開発、新分野への進出、環境改善などに積極的に取り組んだ企業へ顕彰・助成を行っています。助成金額は1件あたり30万円、最優秀賞50万円を設けています。令和５年度は、15先に490万円、累計では403社に1億7,808万円の助成を行いました。

■異業種交流事業

異業種交流会の開催・情報提供・企業紹介など異業種ならではの交流を通じて自社の新たな価値を見出していただく事業です。４つの分科会に51社が参加、それぞれの活動をACCがサポートしています。

一般財団法人 朝日中小企業経営情報センター

〒110-0015　東京都台東区東上野1-2-1　朝日信用金庫西町ビル５階
TEL.03-5818-1281　FAX.03-5818-2811　https://zai-acc.com/

中小企業経営者のための情報誌「ACC INFORMATION」を年２回発行しています。

SDGs達成に向けた取り組み

当金庫は平成19年度より「朝日のCSR」を経営の柱に掲げ、CSRに重点をおいた地域密着型金融に取り組んでまいりました。「持続可能な開発目標」=SDGs（Sustainable Development Goals）の達成に向け、協同組織金融機関に課せられた相互扶助の精神に則り、下記の3つの重点課題を中心に本業を通じた社会課題の解決と持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

1. 地域社会の持続的な発展への貢献

当金庫は、地域で真に必要とされる金融機関を目指し、地域密着、お客さまに寄り添う経営に重点をおいた活動を展開しています。地元中小企業への総合的な支援体制を整え、地域社会および地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

●事業活動支援　●金融サービスの提供　●人材育成面での貢献　…　P7～10をご覧ください

2. 環境課題への取り組み

当金庫は、エコキャップ推進活動など資源の効率的な利用や廃棄物の削減等を地域の皆さまとともに実践しています。また、100％再生エネルギーを促進する新たな枠組み「再エネ100宣言 RE Action」に加盟するなど、今後も地域の環境保全活動を推進してまいります。

●地域環境の保全推進（社会貢献活動）　…　P12，P14をご覧ください

3. 豊かな暮らしの実現

当金庫は、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組む一方、地域の祭り・イベント等への積極的な参加を通じ、地元の皆さまとの「きずな」を深めてまいりました。地域にかかわるすべての人が「豊かさ」や「幸福」を実感できるよう今後も真摯に取り組んでまいります。

●地域の「きずな」づくり　●働きがいのある職場環境（働き方改革の推進）　…　P12～14をご覧ください

●江戸川区公式SDGsアプリ「eito」に協力

江戸川区が令和5年10月から運用開始したSDGsアプリ「eito（エイト）」。当金庫は、11月に区内14店舗を「つながるスポット」に登録し、SDGs啓発に協力しています。エコキャップ回収にご協力いただいた方、タブレット端末でお取引された方にeitoポイントを進呈しています。

●SDGsロビー展

当金庫では、店舗ごとにテーマを決めて「SDGsロビー展」を開催しています。地域連携による防犯・防災の呼びかけや、3R*のアイデアなどをディスプレーで紹介しています。お客さまの目を楽しませながら、SDGsを啓発しています。

＊Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の総称

●非常用食料品を寄贈

令和6年3月25日、SDGs活動の一環としてアルファ米7,500食分をフードバンクに寄贈・委託しました。これは帰宅困難者向けに備蓄していた非常食料品の入れ替えにともなうもので、委託先の認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンを通して児童養護施設や福祉施設などに寄贈されます。

●東京新聞「こどもSDGs教室」

令和5年11月18日、東京新聞主催の「こどもSDGs教室」にて、職員が講師を務め、エコキャップ推進活動への取り組みなどを紹介しました。小学生のお子さんと保護者、計30組が参加して、新聞記者のアドバイスを受けながら「SDGsオリジナル新聞」を作成しました。

社会貢献活動など

社会貢献・地域貢献活動

エコキャップ推進活動

『ゴミとして廃棄されるペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルによる収益金で開発途上国の子どもにワクチンを贈る』というエコキャップ推進活動を平成20年から実施しています。
また、江戸川区内の店舗の回収分は、同区の「障がい者支援施設」に選別作業を委託し、地域社会の福祉活動に貢献しています。

回収実績 令和5年度　5,140,000個
累計　179,271,640個

これを換算すると
▶ポリオワクチン…211,803人分
▶二酸化炭素の削減…約1,334トン

公益法人等への寄付

■すみだ水族館「AQTION!」サポーター
当金庫は、「すみだ水族館」が行っているサステナブルな活動「AQTION!」に令和4年度より協賛しています。この活動を通して、環境問題への気づきや、子どもたちの視野を広げる活動をサポートします。

■東京都交響楽団「ヤングシート」
公益財団法人東京都交響楽団が全国の小学4年生から高校3年生を対象に年間700名を休日の昼公演へ無料招待する教育活動「ヤングシート」に協賛しています。

地域の子どもたちのために

■わんぱくトライアスロン
当金庫は地元小学生のスポーツイベントに協賛し、若い力を応援しています。令和5年8月27日、台東・墨田区内の小学4～6年生163名が参加した「桜橋・わんぱくトライアスロン」が台東リバーサイドスポーツセンター・隅田公園・桜橋を会場に行われ、当金庫職員はコース誘導などをお手伝いしました。

■100周年記念「キッズマネースクール」
令和5年11月12日、台東区と台東区・江戸川区教育委員会の後援のもと、一般社団法人日本こどもの生き抜く力育成協会のスタッフが先生となり、本店ビルと中央支店にて開催しました。小学生34名が参加し、投資やお金にまつわるゲームなどを通して金融を学ぶ授業を行いました。

■金融教育
次世代を担う地元小・中学生等に対し、社会性やコミュニケーション能力、働くことの大切さなどの職業観・就労意識を育んでもらう金融教育を実施しています。

〈出張授業〉
令和5年9月29日、市川市立妙典中学校の「キャリア教育セミナー」で、当金庫職員が金融機関の役割などについて授業を行いました。セミナーは、地域の様々な職種の方が講師を務め、生徒が進路選択の参考にすることを目的としています。また、12月19日、台東区立平成小学校の5・6年生に向けて職員が「お金と金融機関の役割」「お小遣い帳のつけ方」などについて授業を行いました。

〈職場体験学習〉
令和5年度は、4店舗において19名の学生に職場体験学習を実施したほか、大学生向けに「1day仕事体験」をオンラインで計33回開催し、524名が参加しました。

サークル活動

こすもす倶楽部

当金庫で公的年金を受給（または受給予約）されている方専用のサークルで、毎年1泊旅行や観劇会を実施しています。令和5年度は、9月12・13日に開催した「明治座観劇会」純烈の特別公演に1,982名、2月に実施した「九州極上の温泉とグルメ旅」に76名の方が参加されました。

ときめき倶楽部

女性のお客さま向けに、有名店のランチをお楽しみいただくグルメサークルです。令和5年度は、7月：フランス料理「ア ビエント」、10月：広東料理「Cantonese 燕」、2月：日本料理「明石」にて開催し、延べ147名の方が参加されました。

社会貢献活動など

「振り込め詐欺」など特殊詐欺の未然防止

お客さまの大切な財産を守るため、地元警察署との連携を強化し、職員が振り込め詐欺などの「特殊詐欺」の未然防止に対する高い意識を持って、窓口でのお声掛けを徹底しています。また、被害未然防止対策として「70歳以上で過去3年間にキャッシュカードによるお取引（振込・10万円以上の引出）をされていないお客さま」は、ATM振込限度額を「0円」、現金引出限度額を「10万円」に設定しています。令和5年度は、5件303万円の特殊詐欺を未然に防止しました。

お客さまの利便性向上への取り組み

来店予約サービス

来店時間を予約いただいた方を優先的にご案内するサービスです。新規口座開設、相続相談、各種融資相談などのお手続きで来店の際にご利用いただけます。また、令和6年5月よりなぎさ支店の土曜相談受付が可能となりました。

朝日スマートアプリ

入出金明細照会、口座開設からローンのお申込みまで様々なお取引がスマートフォンでご利用いただけます。

障がい者の方・高齢者の方へのサポート

店舗の設備

店舗ごとの対応状況は
P61-62をご覧ください。

皆さまが安心してご利用いただけるような設備・サービスをご用意しています。文字や取引図を指し示すことで意思疎通を補助する「コミュニケーションボード」、ご本人からのご希望による「筆談」「代読」対応のほか、耳の不自由な方や発話に困難がある方が当金庫と意思疎通を行いたい場合に、手話通訳者が仲介して双方向をつなぐ「電話リレーサービス」がご利用いただけます。

■点字ブロック

店舗の敷地内から店内・ATMコーナーへ誘導する点字ブロックを設置しています。

■AED

心肺停止などの緊急事態に備え、全店のATMコーナーにAED（自動体外式除細動器）を設置しています。

■視覚障がい者対応ATM

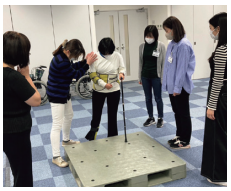
視覚障がいの方が安心してご利用いただけるよう、点字や音声案内機能付きATMを全店に設置しています。

■身障者駐車場など

身障者の方専用の駐車場を20店舗にご用意しています。また、「誰でもトイレ」を19店舗に設置、うち6店舗がオストメイト対応となっています。

高齢者・障がい者対応研修

ご来店されたお客さまに、より質の高いサービスや適切な配慮ができるよう、店内職員を中心に研修を行っています。令和6年3月末時点で「サービスケアサポーター講座」を101名、「認知症サポーター養成講座」を371名の職員が受講しています。そのほか、高齢者対応などの通信講座を積極的に受講し、お客さまへの理解を一層深めています。



地域高齢者見守りネットワーク

当金庫は、一人暮らしの方など見守りが必要な高齢の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう「地域高齢者見守りネットワーク」に加盟しています。高齢のお客さまに対し、日常業務の中で「緩やかな見守り」を行い、認知能力の低下などの異変を発見した場合には、各店舗が属する自治体や地域包括支援センターと連携し、早期支援を目指します。

シニア・サポートサービス

シニアのお客さまとご家族の皆さまがこの先も安心して暮らしていけるよう、将来に備えた商品・サービスを用意しています。経験豊富な弁護士によるサポート体制、外部専門企業と連携した様々なサービスを揃え、お客さまの大切な財産をお守りします。

環境保全への取り組み

環境対応型融資商品の取り扱い

太陽光発電などの省エネ設備を設置した住宅を対象にした住宅ローンや、エコカー購入の際のマイカーローンの金利を優遇し、お取引先の環境問題への取り組みを応援しています。令和3年6月より、SDGsにつながる取り組みを応援する『朝日SDGsサポート』の取り扱いを始めました。

印刷物への対応

地球温暖化防止への取り組みとして、当金庫の通帳・証書・カレンダー・パンフレットなどの印刷物に、制作時に発生したCO_2を相殺するカーボンオフセットや、FSC森林認証紙などを積極的に採用しています。

ペーパーレスの促進

店頭や営業係にタブレットを導入し、書類の電子化を促進しています。また、令和2年より業務改革によるペーパーレスを進め、融資ファイルなど内部管理書類や報告書類の電子化・集中化により保管書類の約9割を電子化しました。

100%再生可能エネルギーを使用

当金庫は、東京電力エナジーパートナー株式会社と「実質再生可能エネルギー由来の電気を100%導入する契約」を締結し、令和4年7月より「再エネ」を利用しています。

再エネ100宣言 RE Action

《朝日信用金庫の目標値》
・2030年までに使用電力の90%以上を再エネ化
・2050年までに使用電力の100%を再エネ化

（令和4年5月25日加盟）

その他の取り組み

店舗新築の際には、LED照明や二重ガラスなど環境に配慮した省エネ設備を積極的に採り入れ、本店ビルや本部ビル（豊島町支店）には、太陽光発電システムや屋上緑化・壁面緑化を採用しています。また、粗品袋の素材を見直し、廃棄される非食米から作られた新素材のライスレジン製に切り替えました。

働き方改革への取り組み

朝日ダイバーシティ推進委員会

平成30年2月に掲げた「朝日ダイバーシティ行動宣言」のもと、職員の個性・価値観を尊重した人材育成や、ワークライフバランスを考えた働きやすい職場づくりを目指しています。

ASAHI DIVERSITY

■職場復帰支援

疾病を抱えて長期間にわたる休職に至った職員の不安解消と円滑な職場復帰を支援するため、「職場復帰支援プログラム」や「短時間勤務制度」を導入しています。また、育児休暇中の職員には「あさひママ友・情報交換会」や「育休復帰前面談」に加え、「職場復帰研修」を実施しています。

■テレワーク規程

令和4年4月、コロナ禍対応で導入していた職員の「在宅勤務」を将来にわたって持続的に適用が可能な制度として「テレワーク規程」を制定しました。多様なワークスタイルの実現、震災等による交通遮断時のBCP対応、病気・けが等による通勤困難者への対応などに活用しています。

各種認定の取得

当金庫は、「子育てサポート企業」の最高位「プラチナくるみん」、女性活躍推進企業認定マーク「えるぼし（二つ星）」の認定を受けました。また、「健康優良企業（金）」の3年連続取得など、職員とその家族の健康管理と環境整備にも積極的に取り組んでいます。このほか、「仕事と介護を両立できる職場環境」（愛称：トモニン）の登録や、メンター制度、プレミアムフライデーの推奨など様々な面から働き方改革を推進しています。

女性が活躍しています

プラチナくるみん 子育てサポートしています

健康優良企業 協金第53号

仕事と介護の両立支援

創立100周年記念事業

朝日信用金庫は、おかげさまで令和5年8月3日に創立100周年を迎えました。その記念事業として令和5年度は記念商品の発売や地域を応援するプロジェクトなど様々な活動を展開しました。

●記念感謝デーを全店で実施

令和5年6月から7月にかけて「創立100周年記念感謝デー」を各店ごとに実施しました。来店されたお客さまに特別記念品のプレゼントや抽選で様々な商品が当たる「お楽しみ抽選会」を開催しました。

●記念商品の販売など

・個人向けの記念商品として、金利優遇付きの記念定期預金「朝日アニバーサリー」とWEB・アプリ向け「創立100周年記念定期預金」のほか、投信・定期をセットにした100周年記念の「朝日ニコニコプラン」を発売
・法人向け融資商品「朝日パートナー100」・「朝日NEXT100」・「朝日プライム」の取り扱い
・投資信託の新規購入先にプレゼントキャンペーンを実施
・年金受給されている方を対象に「大抽選会」を実施

●朝日しんきんキャピタルパートナーズ

お客さまが抱える個別課題の解決に一層取り組むため、100周年記念事業の一環として投資専門の株式会社「朝日しんきんキャピタルパートナーズ」を令和5年7月12日に設立しました。改正信用金庫法に基づいて、お取引先の議決権株式の取得が可能となり、これにより、お客さまからの相談が多い「事業承継」などについて支援の選択肢が広がりました。

●地元応援団

令和5年8月から12月にかけて、当金庫と関係性の深い18自治体に対して地域の課題解決やSDGsに貢献する地域創生事業を応援することを目的として総額2億1千万円を寄付しました。

8月	江戸川区	SDGs FES in EDOGAWA／ハワイ州ホノルル市との姉妹都市交流促進支援事業
	三郷市	防災コミュニテイ施設整備事業
9月	港区	みなと区民の森づくり
10月	板橋区	板橋駅板橋口地区再開発事業における公益エリア整備
	松戸市	地方創生SDGsの推進及び市民と共に取り組む脱炭素に向けた取り組み
	豊島区	すずらんスマイルプロジェクト（若年女性支援プロジェクト）
	北区	不登校対応（児童・生徒の居場所及び保護者への相談支援機能の確保）
	文京区	Bunkyo Sports Park／学びの居場所架け橋計画
	中央区	ゼロカーボン機運醸成事業
	練馬区	都市農業振興事業
11月	千代田区	千代田区民体育大会開催
	台東区	危機・災害対策事業
	足立区	子供向け無料招待公演及び伝統芸能体験事業
	葛飾区	堀切四季のみち整備事業
12月	江東区	まなびサポート事業
	墨田区	庁有車のEV化による区民へのエコカーの普及啓発事業
	荒川区	高齢者・小中学生元気応援事業
	市川市	いちカレ事業（生活困窮者への食事提供）

●上野しんきん館

令和6年2月1日、台東区上野4-8-13の所有ビル1～3階に「上野しんきん館」を開設しました。全国の自治体に無償で貸し出し、地元特産品の販売等に活用してもらうことで地域活性化に貢献します。第一弾として岩手県西和賀町のポップアップストアが3月末までの期間限定でオープンしました。

金融仲介機能のベンチマーク

金融仲介機能のベンチマークとは、金融機関の金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するとともに、金融機関自身の自己点検・評価、お客さまへの開示、監督当局との対話のための論点整理として使用する3種類の指標のことを言います。

共通ベンチマーク	**全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題解決等の状況を客観的に把握するために使用している指標**
選択ベンチマーク	**各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択している指標**
独自ベンチマーク	**各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて、独自で使用している指標**

以下に、共通ベンチマークおよび、選択ベンチマーク・独自ベンチマークのうち当金庫が特に重要と考える指標結果について、開示します。

共通ベンチマーク　1

金融機関がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数（先数はグループベース。以下断りがなければ同じ）、及び、同先に対する融資額の推移

（単位：先、億円　）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
メイン先数	13,707	13,663	13,401
メイン先の融資残高	7,420	7,511	7,426
経営指標等が改善した先数	4,349	4,906	4,798

経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高推移　（単位：億円）

令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月
4,256	4,363	4,347

共通ベンチマーク　2

金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

（単位：先　）

	条件変更の総数	好調先	順調先	不調先
令和3年度	2,187	22	33	2,132
令和4年度	2,075	23	27	2,025
令和5年度	2,184	33	31	2,120

共通ベンチマーク　3

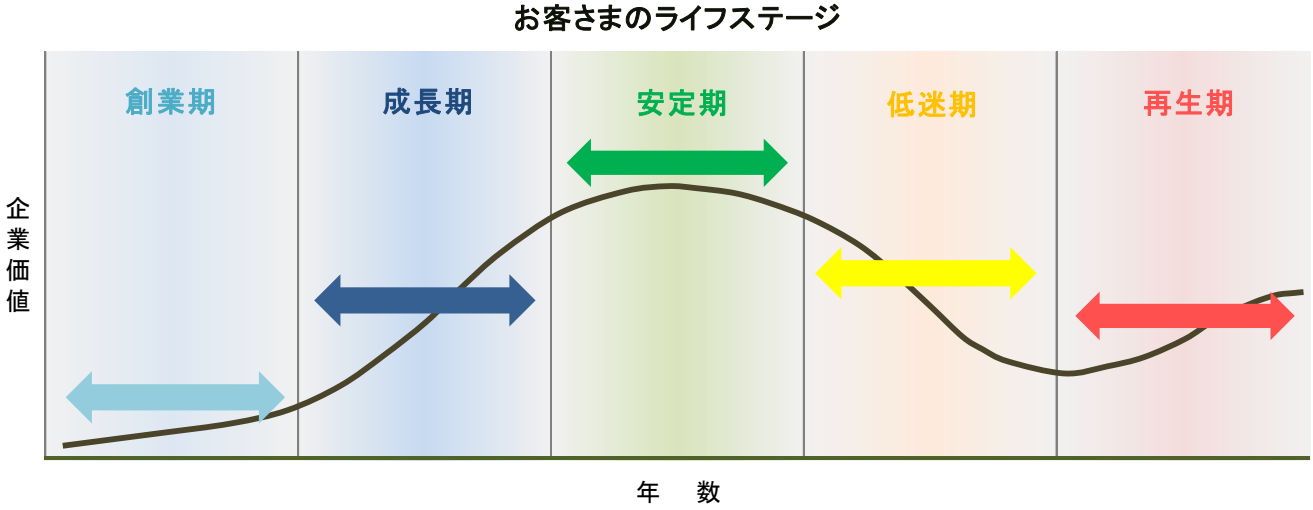
金融機関が関与した創業、第二創業の件数

（単位：件）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
459	519	609

共通ベンチマーク　4

ライフステージ別の与信先数（先数単体ベース）、及び、融資額



「創業期」とは創業から5年以内にあるお客さまのことを言います。また、「成長期」「安定期」「低迷期」はお客さまの売上状況で区分しています。また、「再生期」には貸付条件変更を行っているお客さま等が含まれます。

ライフステージ別の与信先数　（単位：先）

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
令和3年度	20,648	1,058	430	15,899	722	2,539
令和4年度	20,616	998	487	15,867	850	2,414
令和5年度	20,613	1,059	599	15,991	416	2,548

ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高　（単位：億円）

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
令和3年度	11,073	254	687	7,084	694	2,352
令和4年度	11,252	209	585	7,244	865	2,347
令和5年度	11,380	213	764	7,381	420	2,600

共通ベンチマーク　5

金融機関が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び融資額に占める割合（先数単体ベース）

事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高　（単位：先、億円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
先数	3,315	3,504	3,754
金額	5,087	5,293	5,563

上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
先数	16.1	17.0	18.2
金額	45.9	47.0	48.9

選択ベンチマーク　18

販路開拓支援を行った先数

（単位：先）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
22	43	45

選択ベンチマーク　19

M&A支援先数

（単位：先）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
33	34	27

選択ベンチマーク　21

事業承継支援先数

（単位：先）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
88	161	149

独自ベンチマーク －

市区町村が中小企業者の借入負担軽減を図るため、利子・信用保証料の補助を行い、金融機関と協調して行う融資あっせん制度の取り扱い実績。

（単位：先、件、億円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
先数	3,108	3,496	2,586
件数	3,456	4,001	2,834
金額	262	290	213

独自ベンチマーク －

経営改善支援に取り組んだ先数

（単位：先）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
381	372	458

独自ベンチマーク －

経営改善取り組み先へ新たに行った融資の状況（年度累計）

（単位：先、億円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
先数	4	10	31
金額	44	10	34

独自ベンチマーク －

新たに経営改善計画策定に取り組んだ先数

（単位：先）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
28	31	40